



4月16日(日)、稲荷神社で「第9回東部緑道桜祭り お花見・歌謡ショー・カラオケの夕べ」が開催されました。訪れたみなさんは、満開の桜の下で、カラオケや朝日町在住の歌手原沢みなこさんの歌を楽しみました。

第9回東部緑道桜祭り



4月16日(日)、市制施行30周年記念事業「体験アクアウォーク」が遊水館で開催されました。清水富弘医学博士(上越教育大学助教授)が、参加者68人に水中歩行を指導しました。

体験アクアウォーク



4月23日(日)、ふれあいセンターで、第1回環境プラン策定講演会が開催されました。千葉大教授、延藤安弘さんを講師に迎え「人づくり・環境づくりを考える」をテーマに、まちづくり・環境づくりに今、私たちはどう関わっていくべきか、について話されました。関西弁の親しみやすい口調と、ユーモアを交えた講演に、参加者の中からは、もっと話が聞きたい、という声が続出しました。第2回目の講演会は、11月12日に予定されています。

第1回環境プラン策定講演会開催



市内小学校入学式

4月6日(木)、市内小学校の10校で一斉に入学式が行われ561人が新1年生となりました。

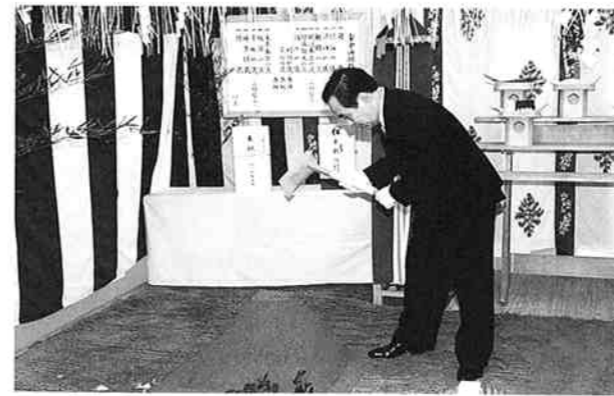
木崎小学校では菅原勉校長が73人の新入生に「交通事故やけがに気をつけて、みんなと元気に仲良くがんばりましょう」と歓迎の言葉を贈りました。



市制施行30周年記念事業参加
演劇くらぶ「葛の葉」公演

4月29日(土)、30日(日)、中央公民館で、市民演劇くらぶ「葛の葉」が「ブンナよ木からおりてこい」を上演しました。

子ガエル「ブンナ」の回りに起こる弱肉強食の世界、ブンナはそこで生きることの大切さを知っていきます。会場を訪れた人々(約300人)は、小さな魂の芽生えをしっかりと受け止めていました。



「環境再生啓発施設」の安全祈願祭

4月19日(水)、福島潟公園の一角で、新潟水俣病の教訓を後世に伝える県の環境再生啓発施設「環境と人間のふれあい館」の建設工事安全祈願祭が行われました。

完成は来年の春の予定。施設の大きさは鉄骨構造2階建て延べ床面積1,210平方メートルとなります。



水の駅「ビュー福島潟」
名誉館長に竹内氏就任

4月30日(日)、水の駅「ビュー福島潟」竹内敏信名誉館長就任式が行われました。竹内名誉館長は、日本を代表する風景写真家の一人で、数多くの写真集を発表しています。「福島潟というすばらしい自然を残すことが私たちの役目、写真を表現の一つとして情報発信をしていきたい」とあいさつしました。

また、名誉館長就任を記念した「竹内敏信写真展・櫻」が、5月28日(日)まで水の駅「ビュー福島潟」開催されています。



伝統の神楽が十二年ぶりに復活

4月17日(月)、内島見神明宮春季例祭で、「内島見神楽」が12年ぶりに奉納されました。

「内島見神楽」は明治初期から伝えられている市の無形民俗文化財です。実は舞い方の高齢化で、12年前に披露されたのが最後になっていましたが、若手の「内島見神楽保存会」の皆さんによって復活。会場となった観音堂には多くの人々が見物に訪れ、神楽の奉納後には大きな拍手が送られていました。



あいさつの輪を広げよう

4月6日(木)から12日(水)まで、川西3丁目自治会の方々が葛塚小学校の校門前で、登校する児童たちにあいさつ運動を行いました。これは自治会の55歳以上の方でつくれた「おもと会」の皆さんが、地域を明るくしようと始めたものです。昨年を皮切りに2回目となる今年は、児童たちの方からあいさつをしてくるケースが増えたそうです。